

令和元年度 決算の概要

令和元年度の決算につきましては、5月19日に監事の皆さまによる監査を受け、5月25日に組合会を開催し、認定をお願いする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、当該組合会の開催を中止し、理事長専決により処理しました。なお、当該専決処分については、次の組合会において、組合会議員の皆さまにご承認いただくこととなります。

各経理の決算概要は次のとおりです。

●経理別収支決算一覧表

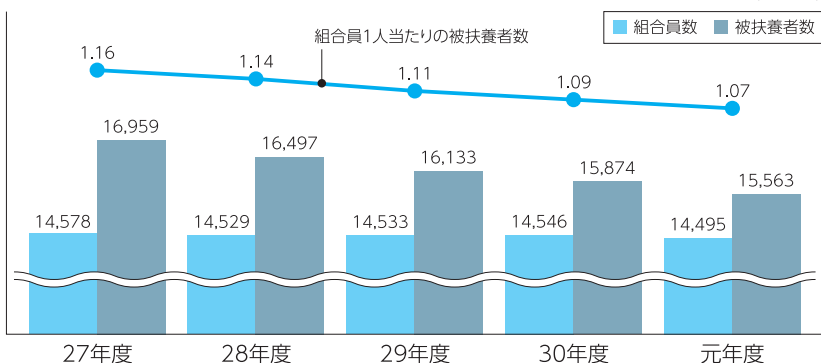
(単位:千円)

区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	9,331,024	8,581,714	749,310
	997,017	1,015,182	△18,165
厚生年金保険経理	20,011,122	20,011,122	0
退職等年金経理	1,278,954	1,278,954	0
経過的長期経理	98,347	98,347	0
退職等年金預託金管理経理	21,193	21,193	0
経過的長期預託金管理経理	2,464	2,464	0
業務経理	286,731	275,101	11,630
保健経理	397,607	383,555	14,052
	5,209	5,209	0
宿泊経理	158,294	166,137	△7,843
貯金経理	638,276	609,434	28,842
貸付経理	34,779	41,322	△6,543
物資経理	5,690	8,754	△3,064

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。
※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

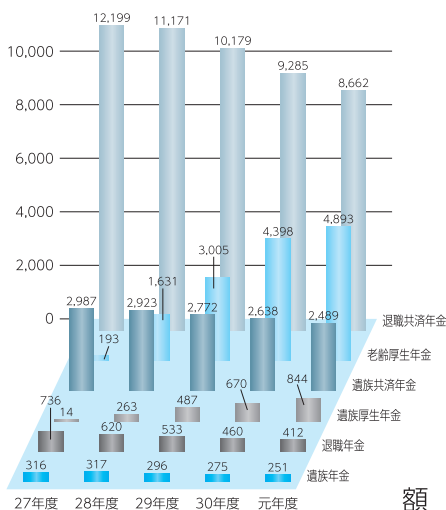
●組合員数と被扶養者数の推移(任意継続組合員を除く。)

(単位:人)



●年金種類別支給件数の推移

(単位:人)



●年金種類別支給件数・1件当たり金額

(単位:件数、円)

区分	支給件数	1件当たり金額
退職共済年金	8,662	1,231,213
遺族共済年金	2,489	1,277,410
退職年金	412	2,039,077
遺族年金	251	1,162,012
老齢厚生年金	4,893	920,586
遺族厚生年金	844	1,170,346

元年度は、9,830万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

この経理では、被用者年金一元化前に裁定された公務障害給付等に係る負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいます。

経過的長期経理

元年度は、200億1,110万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

元年度は、12億7,900万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

この経理では、厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会以下「全国連合会」というへ全額払い込んでいます。

この経理では、退職等年金給付及び被用者年金一元化後に裁定された公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいます。

厚生年金保険経理

退職等年金経理



短期経理

この経理は、組合員及び被扶養者の医療給付及び出産・休業・災害などに係る給付、また、介護保険に係る資金の収納及び納付を行う経理です。

〈短期給付関係〉

元年度は、財源率を94・18%とし、前年度より5・52%引き下げつつ、高齢者医療制度に係る拠出金等(以下「拠出金等」という。)の増減に対処するため、一定の積立金を保有する事業計画での運営となりました。

収入総額は、掛金・負担金など93億3100万円で、給与のプラス改定が影響し、事業計画よりも8420万円の増加となりました。

一方、支出総額は、拠出金等が16億7680万円の大幅な減少となった影響から、85億8170万円となり、前年度と比べ16億3070万円の減少となりましたが、拠出金等の支出額に占める割合は約32%で、依然として短期経理の財政を圧迫しています。

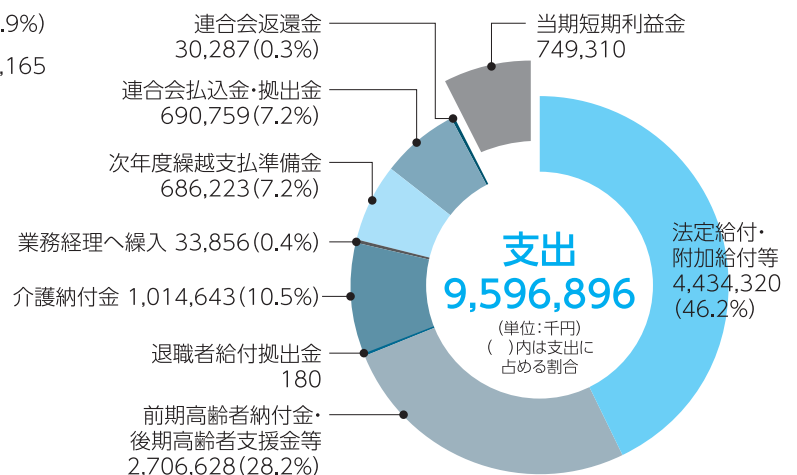
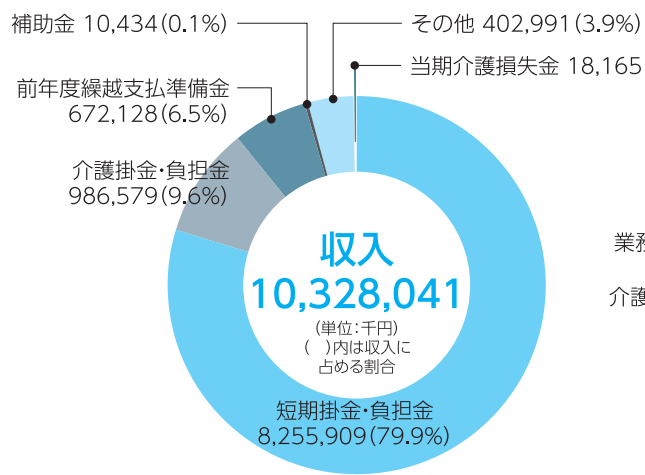
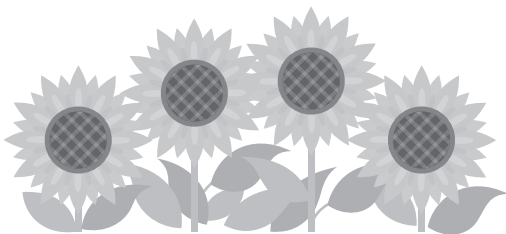
収支決算の結果、7億4930万円の当期利益金が生じたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

※医療費の状況については、10Pをご覧ください。

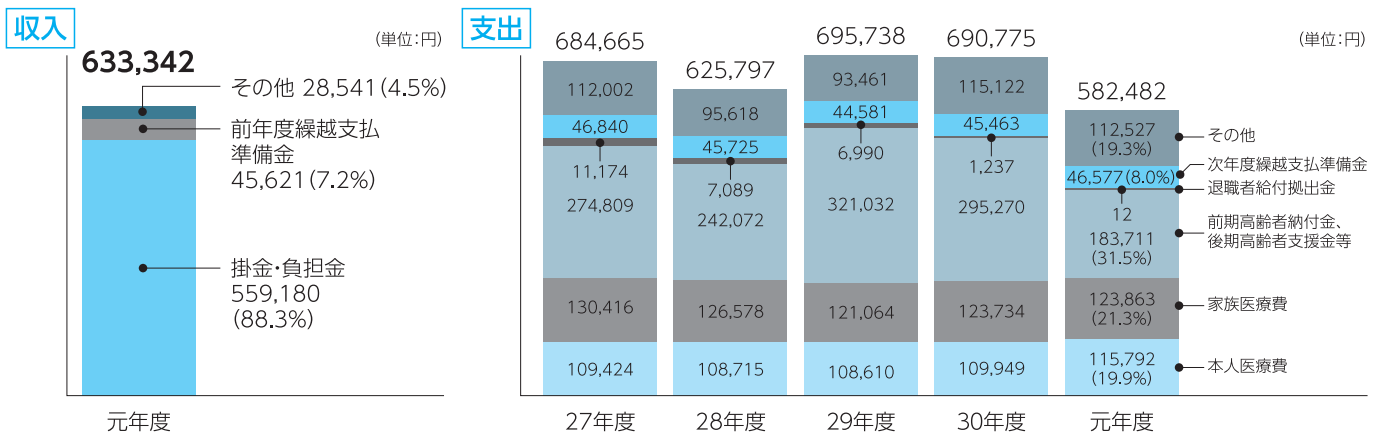


〈介護保険関係〉

元年度は、財源率を15・52%とし運営した結果、1,820万円の当期損失金を計上しましたので、介護積立金を取り崩して補てんし、なお不足する1,380万円は介護繰越欠損金として翌年度へ繰り越しました。



●組合員1人当たりの収入・支出(介護保険を除く。)内訳



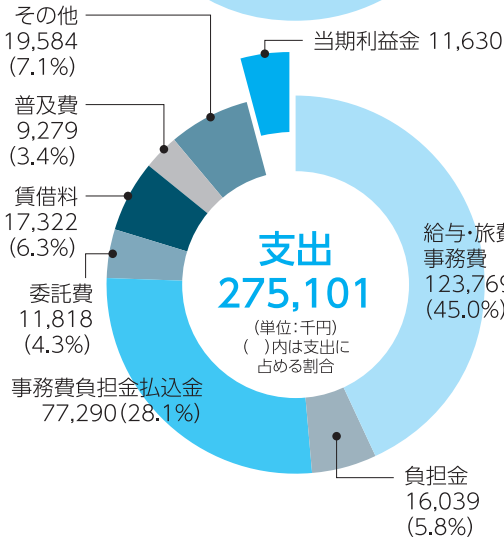
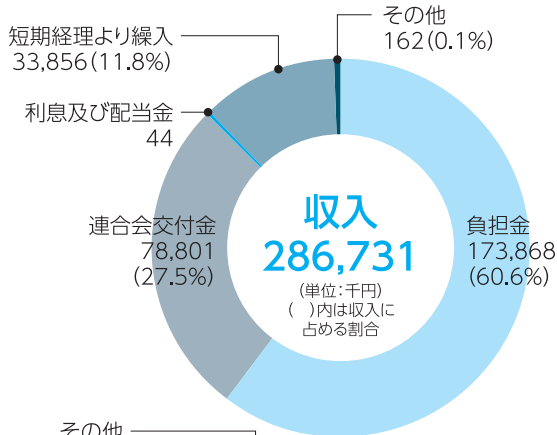
業務経理

この経理は、医療及び年金の給付を行うための事務費等を賄う経理です。

収入総額は、地方公共団体からの負担金、短期経理からの繰入金及び全国連合会からの交付金など2億8,670万円となりました。

一方、支出総額は、2億7,510万円で、諸経費の節減に努めた結果、事業計画より1,550万円の減少となりました。

収支決算の結果、1,160万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。



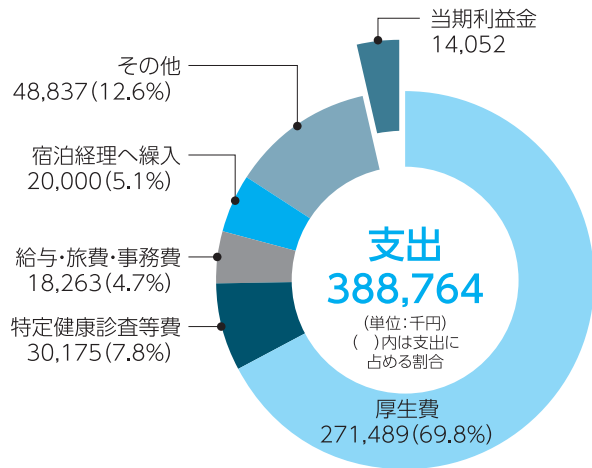
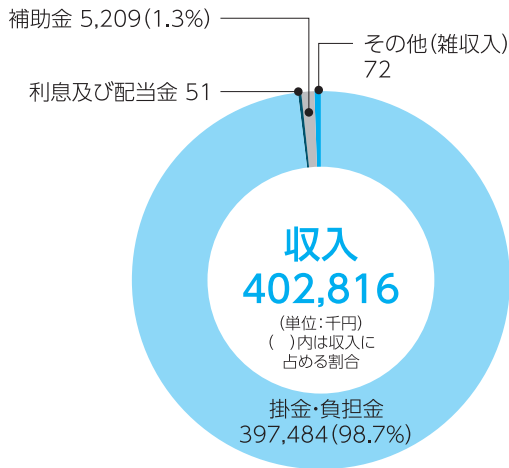
保健経理

この経理は、組合員及びその被扶養者の健康の保持・増進のため、人間ドック等の利用助成事業、特定健康診査・特定保健指導及びデータヘルス事業等を行う経理です。

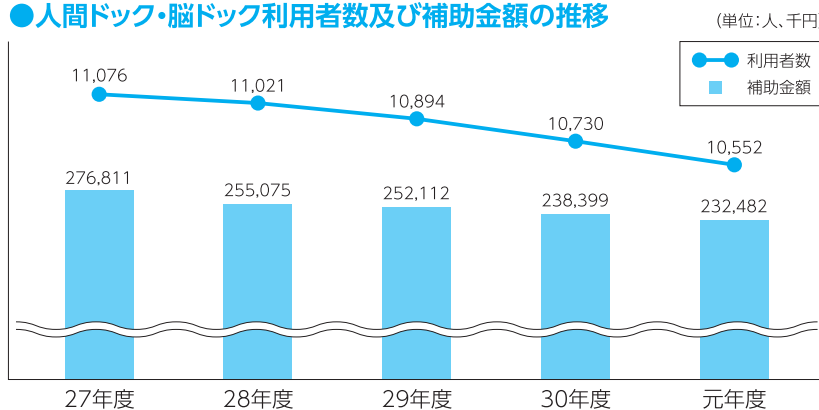
収入総額は、掛金・負担金など4億280万円となりました。

一方、支出総額は、人間ドック等の利用助成などの厚生費や特定健康診査等費など、3億8,870万円となりました。

収支決算の結果、1,410万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。



●人間ドック・脳ドック利用者数及び補助金額の推移



(備考) 1人当たり補助金額を平成28年度に27,000円から25,000円に、平成30年度に25,000円から24,000円に引き下げた。

●保健事業実施状況

項目	金額 (千円)	割合 (%)
人間ドック利用助成	226,194	75.0
脳ドック利用助成	6,288	2.1
特定健診・特定保健指導	30,175	10.0
愛媛共済会館利用助成	10,776	3.6
がん検診等補助	5,993	2.0
福祉施設利用助成	659	0.2
インフルエンザ予防接種補助	13,202	4.4
県・市町連携メンタルヘルス	5,179	1.7
その他	3,197	1.0
合計	301,663	100.0

宿泊経理

この経理は「えひめ共済会館」の経営・運営を行う経理です。

収入総額は、施設収入や減価償却費相当部分の保健経理からの繰入金など1億5,830万円で、年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収となりました。

一方、支出総額は、1億6,610万円となりました。

収支決算の結果、780万円の当期損失金が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

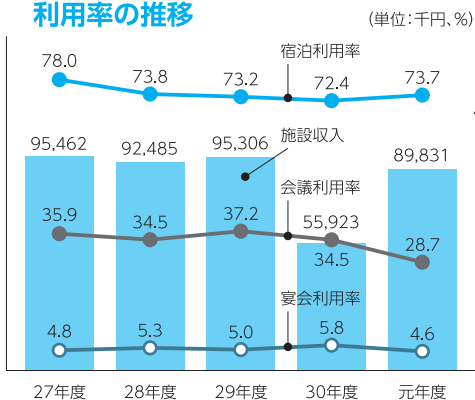
えひめ共済会館は、安全・安心、より快適な施設として引き続き健全運営に努めてまいります。

組合員の皆さまのご利用を職員一同心よりお待ちしております。

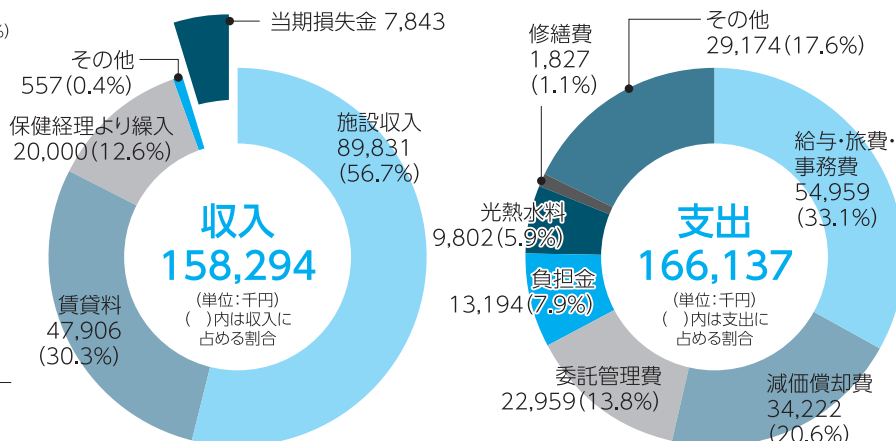
なお、健康増進法の一部改正に伴い、当館は本年4月1日から1階喫煙専用室及び喫煙タイプの宿泊室を除いて館内全面禁煙とさせていただきます。



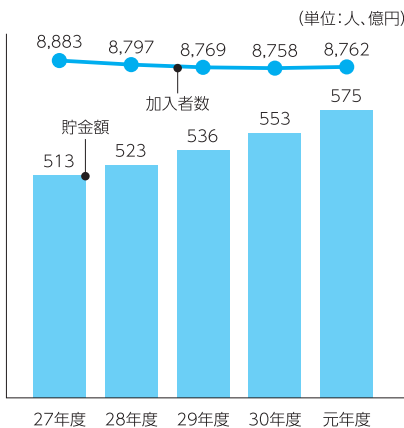
●えひめ共済会館施設収入及び利用率の推移



※平成30年度は改修工事のため7か月間の営業です。



●組合員貯金額・加入者数の推移



この経理は、組合員の皆さまからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用して、皆さまの生活設計に寄与するための貯金事業を行う経理です。

貯金者数は8,762人で、組合員加入率は前年度から0.25%増加の59.6%となりました。

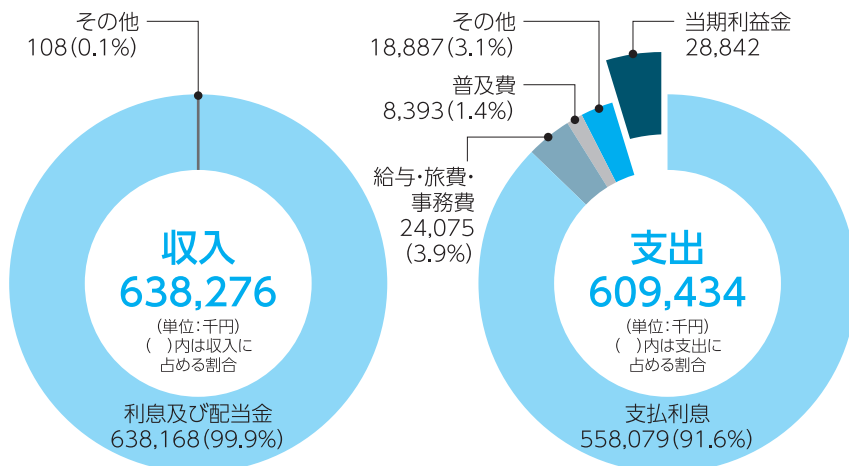
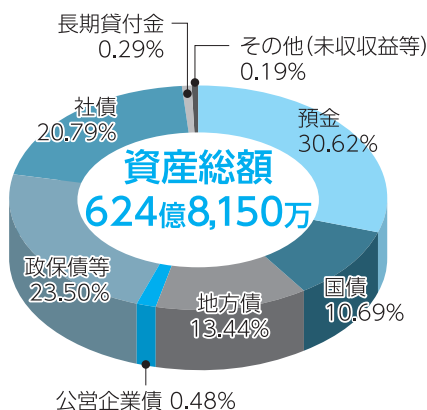
収入総額は、資金運用による利息及び配当金など6億3,830万円で、前年度と比べ1,520万円の減少となりました。

一方、支出総額は、支払利息など6億950万円となりました。

収支決算の結果、2,880万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

貯金経理

●貯金経理 資産構成割合



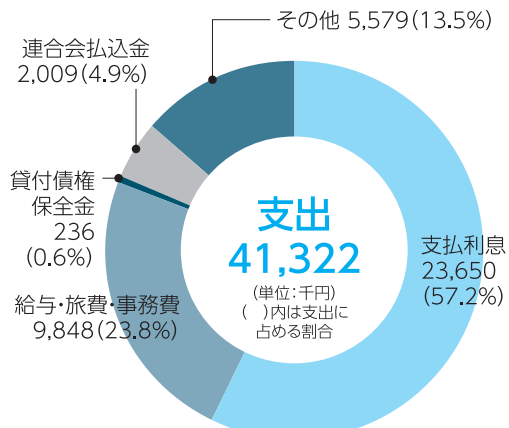
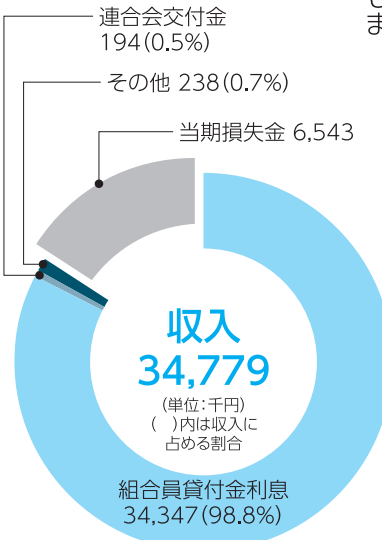
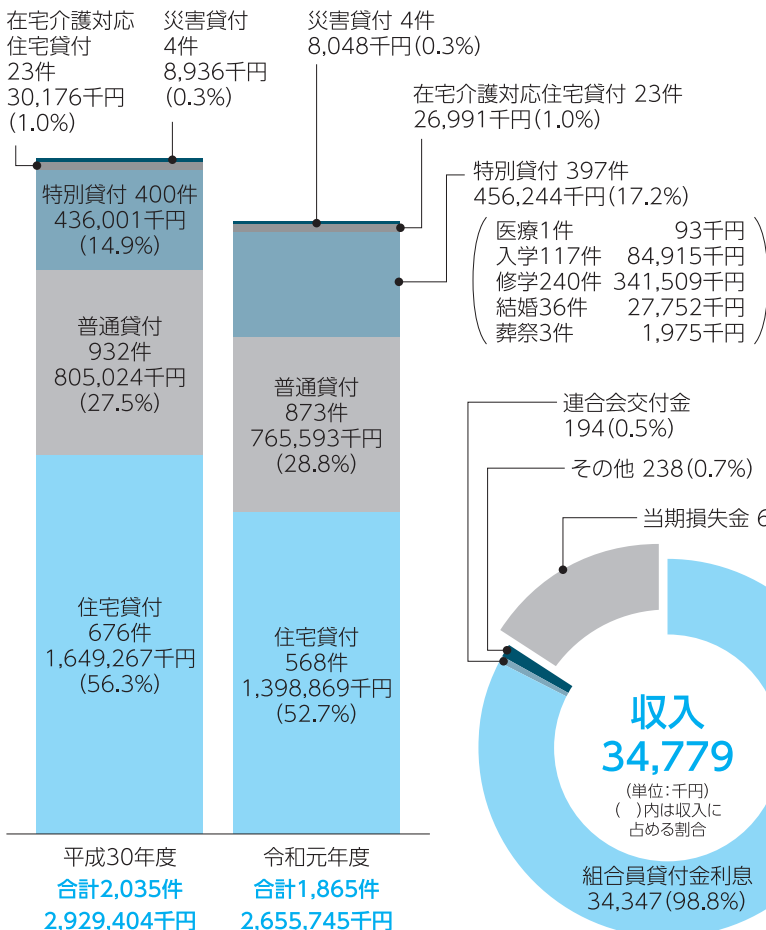
貸付経理

この経理は、組合員の皆さまの臨時の支出に対して貸付けを行う経理です。

収入総額は、組合員貸付金利息など3,480万円、支出総額は、貸付資金の借入に対する支払利息など4,130万円となりました。

収支決算の結果、650万円の当期損失金が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

●組合員貸付金の状況



●物資供給事業販売状況 (単位:件、千円、%)

販売品目	件数	金額	割合
自動車	70	106,760	96.8
自動二輪車	3	2,114	1.9
家具	2	238	0.2
時計・貴金属	1	778	0.7
その他	2	374	0.4
合計	78	110,264	100.0

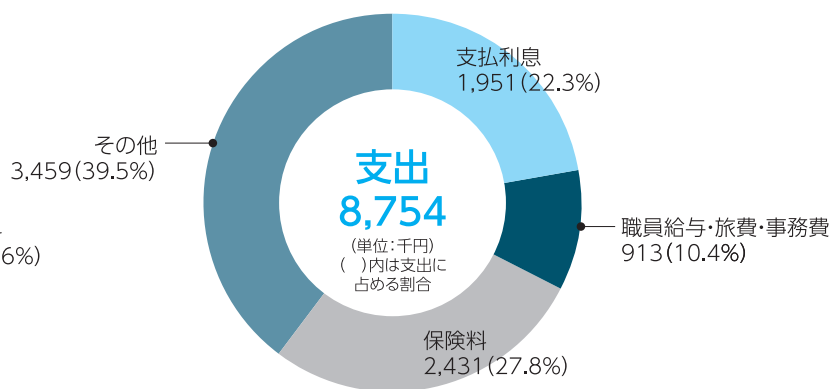
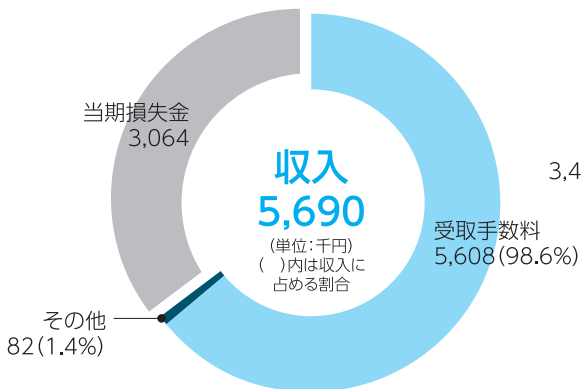
物資経理

この経理は、組合員の皆さまが本組合の指定業者から自動車等を購入する際に、購入代金を立替払いする事業を行う経理です。

収入総額は、指定店からの販売手数料や物資利用組合員からの立替金利息など570万円となりました。

一方、支出総額は、支払利息や貸付事故に係る保険料など880万円となりました。

収支決算の結果、310万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。



退職等年金 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から退職等年金給付に係る余裕金の一部の預託を受けて、主に組合員への貸付資金として管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など2,120万円で、全額を全国連合会へ払い込みました。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで本年7月1日に公開しています。

経過的長期 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から年金給付に係る余裕金の一部の預託を受けて、管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など250万円で、全額を全国連合会へ払い込みました。

なお、この経理では、令和2年度以降、縁故地方債の引き受けのみを管理することとなります。